

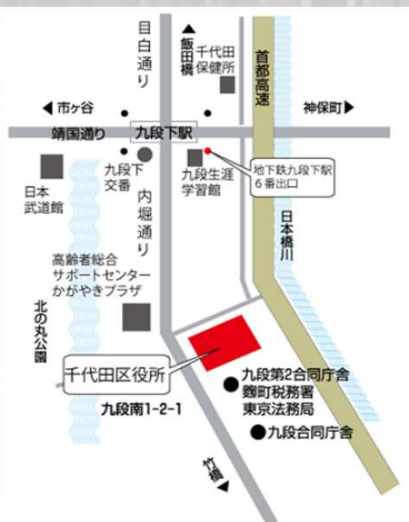
令和5年度CES環境講演会



講師：立花 敏 筑波大学准教授

『特別区において森林環境譲与税・森林環境税をどう活用するか
～木材利用を含む多面的検討から～』

2024年
3月16日(土)
14:00～16:00
千代田区役所
4階 401会議室



3月1日(金)
までに電話にて
事前申込要。
先着50名。

講演概要

脱炭素社会あるいはカーボンニュートラル社会の実現に向けて、持続的な森林管理と木材利用の重要性が国内外で一層認識されるようになり、日本では農山村部での森林整備や木材生産、都市部での木材利用やカーボン・オフセット、森林環境教育・木育等への関心が高まっている。

本講演では、まず森林の有する多面的機能と日本の森林資源を概観し、温室ガス排出量削減とカーボンニュートラルについて森林や木材を取り上げて解説する。

その上で、特別区長会調査研究機構の令和3年度研究会（特別区における森林環境譲与税の活用～複数区での共同連携の可能性～）の概要を紹介し、演者の調査結果等を交えて特別区において考えられる森林環境譲与税・森林環境税の用途を参加者の皆さんとともに考える。

略歴

国立大学法人筑波大学生命環境系准教授（2010年～現在）
日本森林学会代議員、林業経済学会評議員
（一財）林業経済研究所理事
農林水産省林政審議会会長代理（2019年～現在）

主催：一般社団法人千代田エコシステム推進協議会
☎ 03-5211-5085

背景の写真は『奥多摩森林セラピー基地・ロード』